

# フロンティアを目指す 事業経営

## 受講申し込み方法

- 申し込み用紙をFAX (パンフレット中にFAX用の申込用紙が挟んである場合ご利用ください) または
- ① ホームページ (<http://www.kwansei-ac.jp/iba/>) から大同生命寄付講座申し込みフォームに必要事項を入力し送信
  - ② 申し込み日から3日以内に受講料 (3,000円) を振り込んでください。
  - ③ 10月下旬以降、順次事務局から受講案内のメールをお送りします。
    - ・定員 (95名) に達し次第申し込みを終了させていただきます。お早めに申込みいただき、受講料を入金してください。
    - ・受付の終了はホームページにてお知らせいたします。



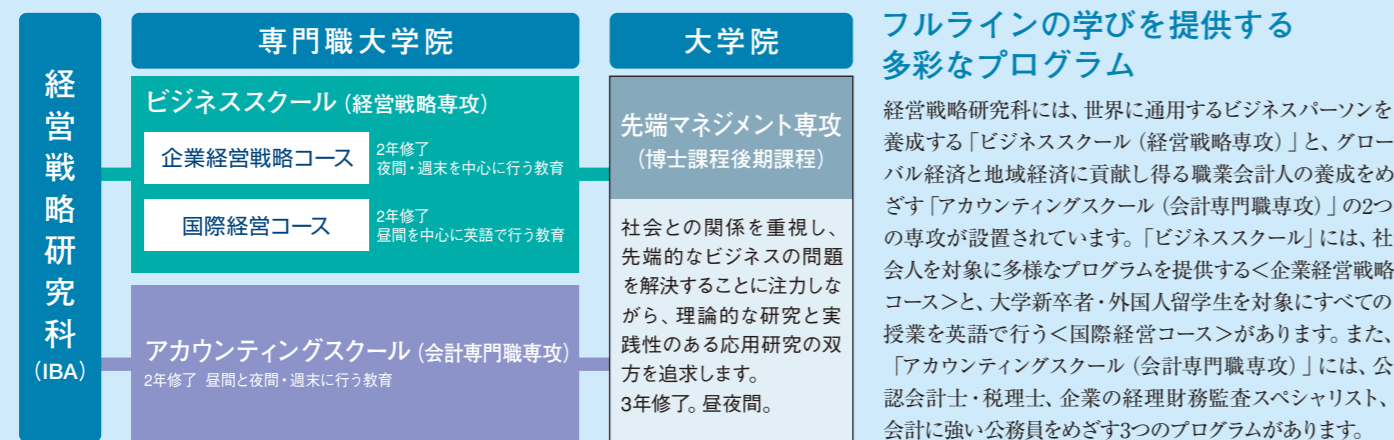
**関西学院大学 大阪梅田キャンパス**  
 阪急梅田駅茶屋町口下車北へ徒歩5分  
 大阪市北区茶屋町19-19 アプロースタワー10階・14階  
 TEL.06-6485-5611  
[http://www.kwansei.ac.jp/kg\\_hub/access/](http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/)

## 関西学院大学経営戦略研究科

### 21世紀の国際経済をリードする経営、会計のプロフェッショナルを育成

社会を構成する多くの要素が複雑化、高度化しています。経済活動における急速なグローバル化は、企業や地方自治体を取りまく経営環境を大きく変化させようとしています。そのことは、企業経営や自治体経営において、既存のビジネスモデルやマネジメントシステムを継続する戦略だけでは不十分であることを意味しています。世界規模で流動化する多様なシーンに対して、適切かつ迅速に対応するとともに、新たな企業や自治体の経営を主体的に創造

する先駆的な戦略が求められています。関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科は、これからの企業経営や自治体経営に求められる高度な専門的知識とグローバルな視点、そして、国際レベルのスキルを備えた21世紀型のプロフェッショナルの養成を目指します。転換期を迎えた日本経済を再構築し、確かな未来を開く、知性、国際性、人間性、そして豊かな倫理観を兼ね備えたビジネスとアカウンティングのリーダーが、ここ関西学院大学から誕生します。



詳しくは、<http://www.kwansei-ac.jp/iba/> をご参照ください。

### 【個人情報の取り扱いについて】

関西学院大学では、本学が提供する公開講座の申込時に、皆さまの個人情報の提供をお願いする場合があります。また、ご提供頂いた個人情報は、公開講座運営のため、および公開講座にお申し込み頂いた皆さまに対し、本学の提供する教育機会についてのお知らせをさせて頂くなど、社会に開かれた大学としての責務を果たしていくために限り、利用させていただきます。本学は、ご提供頂いた個人情報を取扱う場合は、個人情報に関する法令を遵守し、すべての教職員が、機密性を保護する取り組みを実施することにより、プライバシーを尊重し、本学に対する期待と信用に応えてまいりたいと考えています。

### 大同生命寄付講座に関するお問い合わせ先

関西学院大学経営戦略研究科事務室

TEL: 0798-54-6572

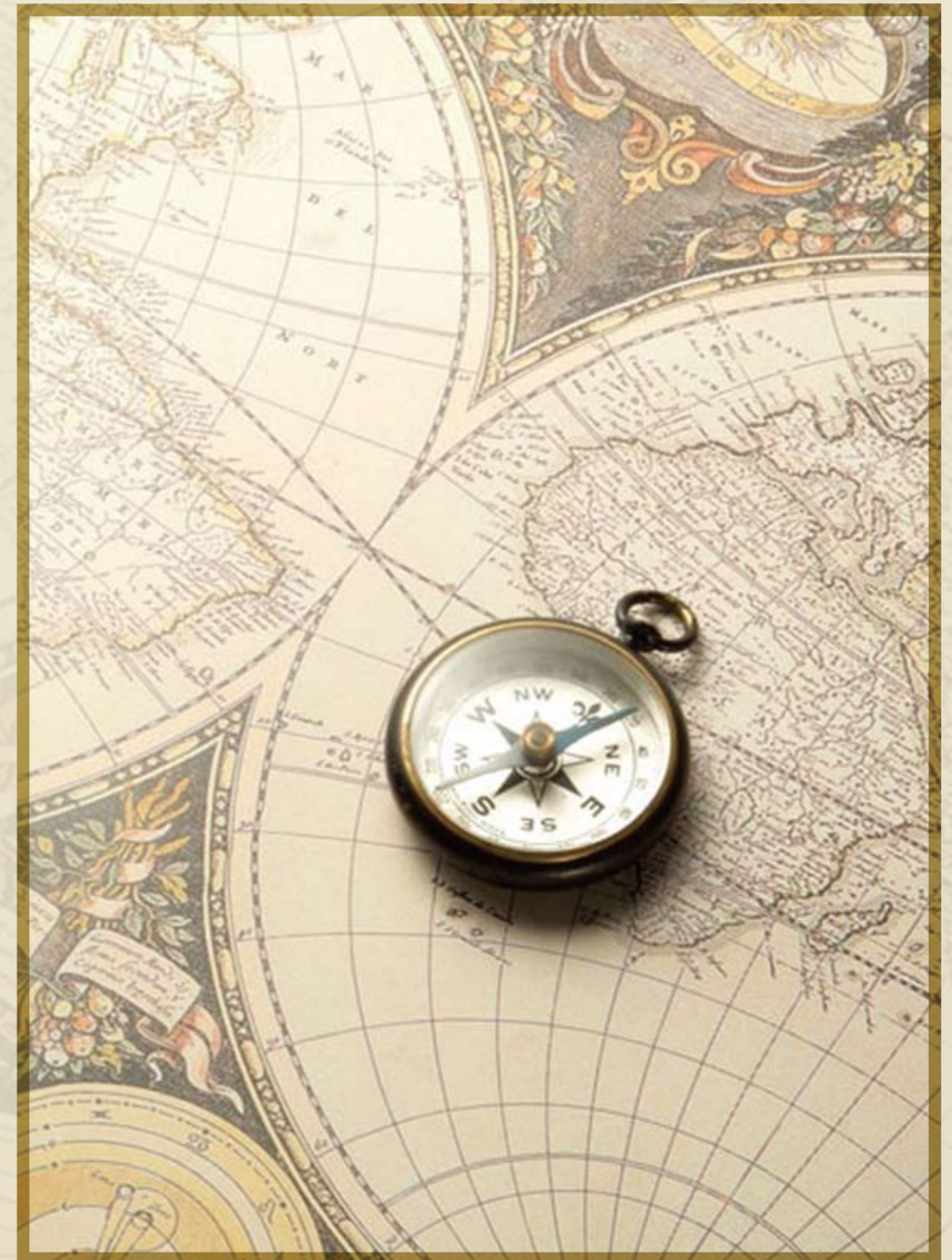
E-Mail: [ibaseminar@kwansei.ac.jp](mailto:ibaseminar@kwansei.ac.jp)



大同生命保険株式会社 寄付講座

# フロンティアを目指す事業経営

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY INSTITUTE OF BUSINESS AND ACCOUNTING



大同生命保険株式会社 寄付講座  
「フロンティアを目指す事業経営」

開催趣旨

閉塞感漂う日本経済において、それを打開するフロンティア戦略が目ざされていますが、最先端・未開拓の分野を切り開いていくことには大きな困難が伴います。その困難をどのように克服し、また成功に求められる要素とは何でしょうか。

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科では、これからの革新的な企業経営者に求められる高度な専門的知識とグローバルな視点を備えたプロフェッショナルの養成を目指しています。このたび本研究科は、大同生命保険株式会社の協力を得て「フロンティアを目指す事業経営」をテーマに公開講座を開講します。新規事業・経営多角化などの切り口から、本研究科の特色である「理論と実務の融合」を感じて頂きたいと思っています。多くの皆様にご参加いただけることを願っております。

会場	関西学院大学 大阪梅田キャンパス 1004教室 [大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー10階]
定員	95名 ※先着順。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
受講料	3,000円 (全日程分。資料、懇親会費を含みます。)

日程	11/8 土曜日	13:30~14:00	受付
		14:00~15:30	「最前線と新天地、巨大企業～中堅・中小企業」 西本 凌 (関西学院大学経営戦略研究科教授)
		15:45~17:15	「新規事業によるフロンティア開発」 ～タツタ電線の事例～ 橋本 和博 (タツタ電線株式会社システム・エレクトロニクス事業本部長)
		17:15~17:20	総括 定藤 繁樹 (関西学院大学経営戦略研究科教授)
		18:00~	懇親会 会場：ホテル阪急インターナショナル4階 「花風」
日程	11/9 日曜日	12:30~13:00	受付
		13:00~14:30	「京都の老舗企業の経営学-万古不易一時流行」 久乗 哲 (税理士法人りたっくす 代表社員・税理士)
		14:45~16:15	「経営多角化戦略によるビジネス・フロンティアの開拓」 定藤 繁樹 (関西学院大学経営戦略研究科教授)

ごあいさつ —寄付講座開設にあたって—

当社の創業100周年を機に平成14年より開催しております本講座は、中小企業経営者のみなさまに、経営・ビジネスに関する知識・スキルの習得の場を提供することで、企業の継続発展を応援していきたいという当社の想いをお伝えする取組みのひとつとして実施してまいりました。

これまでに受講されたみなさまからは大変ご好評いただいております。関西学院大学様では通算8回目の開催となります。

未来に向けてこれからも中小企業のみならずともに歩んでいくために、この講座をひとりでも多くの方にお役立ていただけるよう努力してまいりますので、お誘い合わせのうえご受講いただければ幸いです。



大同生命保険株式会社

本社<大阪>〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目2番1号  
<東京>〒105-0022 東京都港区海岸1丁目2番3号

<http://www.daido-life.co.jp/>

講座概要

11/8  
土曜日

「最前線と新天地、巨大企業～中堅・中小企業」

時に、ポーターの競争戦略、差別化、低コスト、時に、日本型・エクセレントカンパニーがもてはやされたかと思えば、オープンイノベーションの重要性が説かれる。また時には、消耗戦を強いられるレッドオーシャンから抜け出し、未開拓の市場、「ブルーオーシャン」を創造せよ、といわれてきました。

フロンティアとは、ウィキペディアによると、「最前線」、そして「新天地」を意味するものとされていますが、企業活動もまた絶え間なく進化を継続し、次々に、最前線と新天地を目指した経営革新を引き起こしています。これは、日頃、注目を集める巨大企業だけではなく、隠れた中堅・中小企業の中にも、カッティングエッジな又は地道な「最前線」「新天地」を求めた素晴らしい実例が存在します。

本日は、皆さんがあまりご存じない(と思われる)意外なフロンティア事例をご紹介します、皆さんの明日からの活力醸成に資するお話をしたいと考えます。



にしもと りょう  
西本 凌  
関西学院大学経営戦略研究科教授  
MBA (マサチューセッツ工科大学)  
LL.M. (ボストン大学)

1985年、新日本製鐵入社。1989年より、京セラにて、経営指導、M&A、VB/VC投資、三田工業保全管理代理、経営企画に従事。2000年、リップウッド(再生ファンド)に参画。その後、(株)ナカノス(現(株)ミツカン)代表取締役社長、(株)デジタルガレージ(JASDAQ)取締役COO、など大企業および新興企業のChief Operating Officerを5社歴任。実務派経営者として、受任業態も素材、電子部品/機器、食品、広告、インターネット/メディア、コスメ、アパレル、通販と幅広く、新規事業開発、VB投資、戦略的提携(含M&A)、企業再生に基軸を置く。MITアントレプレナーシップフォーラム、新興/公開企業、他でのメンタリング、経営助言、社外取締役を手掛ける

14:00~15:30

「新規事業によるフロンティア開発」  
～タツタ電線の事例～

タツタ電線は西暦1945年、東大阪市に創業。「企業の繁栄は、たかだか30年」と言われるが正にタツタ電線が30歳(1975年)の時、オイルショックにより致命的大打撃を受けた。その後、新規事業開発に踏み切り2005年頃からスマートフォンなどの携帯端末機器に使われる電磁波シールドフィルムを始めとする電子材料事業が花開くようになった。昨年度は全社売上の40%を背負って立ち、利益の多くを生み出すに至っている。弊社の新規事業30年間の苦闘の歴史や足跡をご紹介します。新たな挑戦を実践されておられる方々への参考となれば幸いです。



はしもと かずひろ  
橋本 和博  
タツタ電線株式会社  
システム・エレクトロニクス事業本部長

タツタ電線株式会社 代表取締役 副社長執行役員  
1951年佐賀県鳥栖市生まれ 63歳。1975年 立命館大学工学部電気工学科卒業、同年タツタ電線入社。旧電電公社向け通信ケーブル製造工場の生産技術、電線営業を経て1987年から現在に至るまでの約30年間、新規事業一筋に歩む。この間、電子回路基板に使われる導電性銅ペーストやスマートフォン、タブレットPCに使われる電磁波シールドフィルムの事業開拓に従事。2013年より現職。蓄積した技術と保有設備を下敷きに新規成長分野への応用を模索している。

15:45~17:15

懇親会 講座終了後に異業種交流を兼ねた懇親会を行います。会場：ホテル阪急インターナショナル4階「花風」 18:00~

11/9  
日曜日

「京都の老舗企業の経営学-万古不易一時流行」

「お客様を裏切らない」という姿勢は、商売を継続させる為に最も重要な「商法」であり、「哲学」であり、そして「責任」です。永く商いを続けてきた京都の老舗では、お客様を裏切らない経営を継続してきました。また、永く経営を継続してきた老舗は、継続を前提に商いをしているように見えますが、万古不易一時流行という言葉が表すように、イノベーションを繰り返してきました。本講座では講師が自らの足で集めた京都の老舗のヒヤリングデータをもとに、老舗がどのようにしてお客様との間に信頼を確保し、信用を維持してきたのかを明らかにします。故きを温ねて新しきを知る。現在にも使える老舗の経営学をお話ししたいと思います。



くのり さとし  
久乗 哲  
税理士法人りたっくす  
代表社員・税理士

1967年京都府京都市生まれ。立命館大学大学院経営学研究所修了(経営学修士)。立命館大学大学院政策科学研究科非常勤講師、立命館大学大学院経済学研究科客員教授、神戸大学経営学部非常勤講師、立命館大学法学部非常勤講師、大阪経済大学法学部非常勤講師を経て立命館大学映像学部非常勤講師(現職)。第25回国税研究賞入選。主な著作に「検証納税者勝訴の判決」、「事例から見た法人税の実務解釈基準」、「京都の老舗に伝わる教えと経営者倫理」(いずれも共著)等がある。TKC全国大会員。

TKC全国会とは、租税正義の実現を目指し、関与先企業の永続的繁栄に奉仕する、税理士および公認会計士1万名超が組織するわが国最大級の職業会計人集団です。

13:00~14:30

「経営多角化戦略によるビジネス・フロンティアの開拓」

企業の寿命30年説がありますが、一方、100年—200年の歴史を誇る老舗企業も少なくありません。企業はゴーイング・コンサーンである限り、本業の成長と合わせて、常に新規事業を開拓し経営多角化を目指します。長期的な経営基盤を確立するため、新たなビジネスにチャレンジし、企業文化・価値観を常にイノバティブに保ち、本業自体の革新を図ることが大切です。今回は、デジタル化に伴うマーケット喪失状況からの脱出事例、保有資源の活用による経営多角化の事例、零細事業の業態転換などの成功事例を通じて、新規事業開発の秘訣を考察します。



さだとう しげき  
定藤 繁樹  
関西学院大学経営戦略研究科教授  
地域活性化伝道師(内閣官房)

1975年京都大学法学部卒業、大阪ガス入社。1985年よりジョージワシントン大学経営行政大学院へ留学。帰国後、海外新規ビジネスを担当。1996年神戸大学大学院経営学研究所でMBA取得。1998年より京都市サードパークで大学発ベンチャー育成や産学連携を担当。2002年光ファイバー非破壊検査システム開発・販売会社(ニューレクス社)を共同創設。2003年より関西学院大学教授。宝塚都市再生プロジェクトを推進。地域活性化伝道師(内閣官房)。2008年—11年副学長(大学院・情報化・社会連携・国際化等担当)。2011年QRコードを活用した大学発ベンチャー(PJIN社)を共同創設。

14:45~16:15